

# お役に立ってま〜す!

何気なく通り過ぎる街のあちこちで、JFE建材の商品が活躍しています。私たちの商品が世の中のどんなところに使われているのかを探ります。

第 24 回

## 広島東洋カープ 二軍練習場で

# バックネットとフェンスが活躍

—山口県岩国市 由宇練習場—

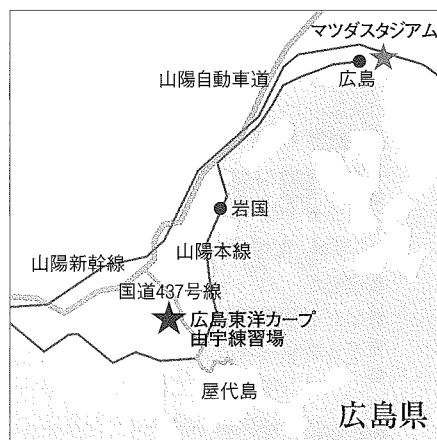
### 「本拠地の環境に近づきたい」 球団の意向で採用が決定!

山口県岩国市にある由宇練習場は、広島東洋カープの二軍練習場として1993年に完成した球場です。昨年、涙のリーグ優勝を果たしたカープの原動力の一つが二軍を巣立った選手の活躍であったことから、2016年シーズンオフ中に由宇練習場の本格的な改修が始まりました。

管理棟の建替えと同時に、ハンガー式バックネット(高さ12m、幅34m)と内外野フェンスの改修が実施されました。由宇球場の環境を本拠地により近づけたいという球団の意向により、マツダスタジアムと同じ内野フェンス(高さ2.4m、延長158m)と外野フェ

ンス(高さ1.5m、延長200m)、4基の大型門扉(4基)が採用。さらに、相森会・フェンス中国特約店会の会員である(株)丸岡産商様から元請への強い推薦とJFE建材・JFE建材フェンスのコラボ営業が実を結び、遊歩道にはJFE建材の転落防止柵(JT3-11 130m)が採用されました。ハンガー式バックネットは通常のフェンスと違って、ワイヤーの張り方が難しかったり、柱の孔は1mmのズレも許されないなど特殊性が高いため、設計、製作段階から工事部が中心となります。中国支店には工事部がないので、九州支店工事部の佐藤部長に協力を依頼。現場指導もしていただき、なんとか3月中旬に引渡しを終えました。

今回の改修工事で、ホームベースか



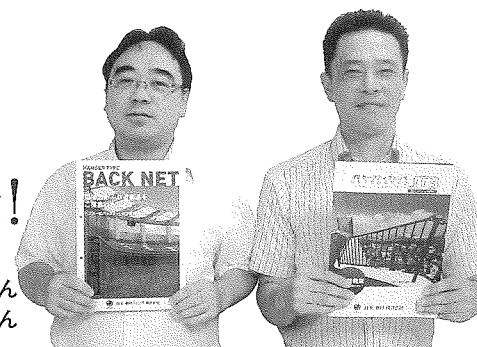
らバックネットまでの距離、マウンドの硬さや形状も本拠地と同じになった由宇球場。今シーズンもカープの快進撃が続いており、二軍の公式試合にも多くのファンが訪れ、選手に大声援をおくっています。

設計事務所でハンガー式バックネットの打合せ時に、遊歩道の柵も新設したいとの話があり、セーフティフ

ェンスを提案。すぐにJFE建材(株)中島さんと同行営業を行いました。また、(株)丸岡産商様が元請に強く推薦

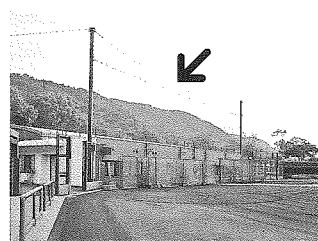
していただいたことで、今回の受注に繋がりました。中国支店では、日頃からコラボ営業を心がけ、お互いに連絡を密に取り合っています。今後も建材と建材フェンス両社の商品群の強みを発揮して、安心安全に貢献していきます。

## グループでの コラボ営業が 実を結びました!



(右)JFE建材(株) 中島さん  
(左)JFE建材フェンス(株) 村北さん

### 今回受注したのは…



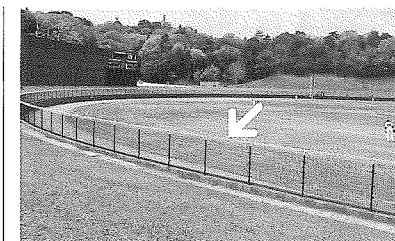
#### ハンガー式バックネット Grand Type 支柱支持型

2本柱で幅34mのネットを支えるロングスパン方式で広い視界を確保できるのが特長。支柱は地中への埋め込みが主流だが今回は管理棟建屋外壁取付仕様で設置。



#### セーフティフェンス JT3-11

勾配平面自在対応型の縦柵で業界最軽量パネル仕様。



#### 内野フェンス Neo-7H240特

建材フェンス独自の胴縁の無い直線基調のパネルで視界が得られる。

#### 外野フェンス NER-STH150特

球場でよく採用され、通常メッシュフェンスより耐衝撃性が向上。

特約店様、販売店様の  
協力を得ながら、  
お客さまのニーズにあった  
両社商品を提供します。

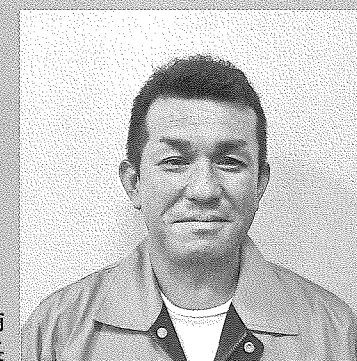


JFE建材フェンス(株)  
中国支店  
村北武雄さん

### お客さまにも

#### ご満足いただけました!

設置したバックネットは、視界を遮らない開放的なデザインです。私は広島生まれ、広島育ちのため、広島東洋カープの選手を別の形で応援できる仕事に携わることができて大変感謝しています。短期期でしたが、JFEグループの皆さんにもご協力いただき、工期に間に合い、元請業者にも喜ばれました。



(株)丸岡産商  
平本副部長